

癒しフェア〜で、レジ袋…。

癒しフェアでの販売に必須のレジ袋は厚・材質・柄の有無等ピンキリですが、弊社ではザックリ特大・大・中・小・幅広5種を御用意。

ここで役に立つのがアクリル(?)ボックス。①100円ショップに置いてそーな穴だらけの箱を用意。②穴付きビニール手提げを用意。③手提げの穴に、昔ながらの綴じ紐を通して固結び。④箱の穴に綴じ紐を通し、結わえ付ける。※紐を通す穴を決めて、マジックで印を付けておくと楽！⑤予備はグチャグチャにならないよう、長目のワゴムで縛って下に隠す。⑥後は綺麗に畳んでオシマイ。⑦綴じ紐を結んで長くしたものを結わえ付けて箱からの取り出しやすくしても◎。これにプラス、沢山、お買上げのお客様に、1枚200円近い紙バッグ(裂けにくいよう二重)をサービスすることもあります。



癒しフェア～で、パッキング…。

とにかく、壊れやすいチベタン仏具。「金属製だし、頑丈でしょ？」と、雑に扱ってしまう方も。お猿サンのシンバルみたいにティンシャをバンバンやったり、手が滑ってウツカリ落とししたり。運ぶ際も、運賃節約でナナメや横にしてグリグリ箱詰めしたら即アウト。

衝撃が加わると目に見えないヒビ=鬆(ス)が入って音がダメになります。(＞_＜) チ～～～～ン♪♪♪→チ～ン……or コン…、コン…。

見た目、真っ二つになってないから分かりづらいですが、マジメに売りものになりません(T_T)

ネパールから送ってもらう際も、経費を支払って嚴重に梱包してもらってます。

一時はビニールパックしただけのティンシャを木箱にすし詰め。クッションは底にぷちぷちが一枚のみ（結果はお察し下さい）

恐らく、服を送る時と同じ発想で、「運賃が安く済むよう、目一杯詰め込んであげよう♪」と考えたのではないかと。

今は、「運賃が掛かって良いから小分けにして下さい。」と御願ひしてます。国によっては、荷物をポ～イ、ポ～イと投げるようにして扱ってるそうですが、重たければ重たいほど、ちょっとした高さから降ろすだけで、「ドン!」と衝撃が加わります。たとえば1メートルの高さから、お相撲さんが飛び降りたら、足や体に相当な負担になりますよね？ 某アニメ映画みたく、空から女の子が降りてくるようにはいきもはん…。

前置きが長くなりましたが、会場ではプチプチが大量に必要になります。~~発注ロットがでかいので、そのままだと会社の入口(自動ドア)を通りません。そこで、直径120cm位のロール(×7本)にまき直して貰ってますが、(※2018/01/19、再度、仕入れようとした所、業界で規格統一が行われ、まき直す必要はなくなったそう)それを切り分けるのが大変…。セロテープカッターのようなものが欲しい!~~ ということで、ホームセンターで物干しザオを購入。写真は、SEKISUI多機能ものほし台『ほすおー』HD-40Cです。

竿にプチプチのロールを通し、S字のカンを竿に引っ掛け、チェーンを垂らます。チェーンの長さを目安にして、長目のハサミでカット。短時間で沢山、切れるようになりましたトサ。めでたし、めでたし…。

